

【報道関係各位】

2023年3月23日
Times Higher Education
株式会社ベネッセホールディングス

「THE 日本大学ランキング 2023」発表

※『THE 世界大学ランキング日本版』は、2023年より『THE 日本大学ランキング』に名称変更致します

世界で最も権威のある英国の教育専門誌「タイムズ・ハイヤー・エデュケーション」(以下「THE」)は、高等教育界に特化したデータ・分析・情報を提供し続けており、「世界大学ランキング」を2004年から発表しています。この度、THEはベネッセグループの協力のもと、大学の教学改革やグローバル化の推進に向けて、「THE 日本大学ランキング 2023」を発表いたします。

ベネッセグループは2016年にTHEと業務提携契約を締結し、THEの国内総合パートナーとして協力してまいりました。「THE 日本大学ランキング」は2017年3月に1回目の発表を行い、今年で7回目となります。毎年秋にTHEが発表する世界大学ランキングでは「研究力」を軸に据える一方で、日本大学ランキングは、日本の教育事情により即した形で大学の魅力や特性が表れるように、大学の「教育力」を測る設計となっています。

ランキング指標は「教育リソース」「教育充実度」「教育成果」「国際性」の4分野で構成されています。一般的な国内の大学ランキングは、主に入学時の学力(合格基準)が軸になっていますが、本ランキングは学生の学びの質や成長性に焦点を当てたものとなっています。

日本大学ランキングの2023年版では271大学がランク付けされました。

総合ランキングでは、東北大学が昨年に続き4年連続で1位に、東京大学も昨年に続き2位に、3位に大阪大学(昨年同率3位)、4位に東京工業大学(昨年同率3位)が、続いて5位は昨年に続き京都大学、6位は昨年から一つランクを上げて九州大学(昨年7位)がランクインしました。また、国際基督教大学が2つ順位を上げて初めてトップ10に入りました(10位)。

分野別ランキングでは、「教育リソース」で東京医科歯科大学が再び1位となり、「教育充実度」は国際基督教大学が初めて1位になりました。「教育成果」は京都大学、「国際性」では立命館アジア太平洋大学と、昨年から1位に変化はありません。(ランキング詳細については、次ページ以降をご覧ください)

THEは、日本に特化したランキングを制作する理由として、日本の大学をより深く、詳しく取り上げることで、より多くの大学の強みを広く世界に示すため、としています。THEおよびベネッセグループは、大学ランキングを順位そのものにとどめることなく、大学独自の魅力や特性を客観的に把握するツールとして、大学改革でのプロセスで活用していただきたいと願っています。

日本の大学における教育改革の一指標とするとともに、国内外の大学進学希望者にとって大学選びの一助になれば幸いです。

Times Higher Education (THE)について

THEは50年にわたり高等教育界に特化したデータ・情報を提供し続けている世界的なオーソリティです:

www.timeshighereducation.com

@timeshighered

THE 日本大学ランキング 2023【ランキング指標】

2023年版のランキング指標は、2022年版から変更はありません。2019年版以来、指標における「教育充実度」の充実を図る目的で、“教員・学生の交流、協働学習の機会”、“授業・指導の充実度”、“大学の

推奨度”の3つの学生調査の結果が、重要な指標項目としてランキングに反映されています。

分野 (Pillars)	項目 (Metrics)	%	
教育リソース Resources	学生一人あたりの資金	8	34
	学生一人あたりの教員比率	8	
	教員一人あたりの論文数	7	
	大学合格者の学力	6	
	教員一人あたりの競争的資金獲得数	5	
教育充実度 Engagement	学生調査：教員・学生の交流、協働学習の機会	6	30
	学生調査：授業・指導の充実度	6	
	学生調査：大学の推奨度	6	
	高校教員の評判調査：グローバル人材育成の重視	6	
	高校教員の評判調査：入学後の能力伸長	6	
教育成果 Outcomes	企業人事の評判調査	8	16
	研究者の評判調査	8	
国際性 Environment	外国人学生比率	5	20
	外国人教員比率	5	
	日本人学生の留学比率	5	
	外国語で行われている講座の比率	5	

【指標の補足説明】

分野 (Pillars)	項目 (Metrics)	THE によりスコア化される際に用いられている情報
教育リソース Resources	学生一人あたりの資金	経常収入、在籍学生数
	学生一人あたりの教員比率	教員数、在籍学生数
	教員一人あたりの論文数	論文数、教員数
	大学合格者の学力	ベネッセ総合学力テストにおける大学合格者の学力
	教員一人あたりの競争的資金獲得数	競争的資金（内閣府 HP に掲載）の大学別獲得数、教員数
教育充実度 Engagement	学生調査：教員・学生の交流、協働学習の機会	設問「教員・学生の交流、協働学習の機会の程度」の回答平均値
	学生調査：授業・指導の充実度	設問「授業・指導の充実度」の回答平均値
	学生調査：大学の推奨度	設問「大学の推奨度」の回答平均値
	高校教員の評判調査：グローバル人材育成の重視	設問「グローバル人材育成に力を入れている」の得票数
	高校教員の評判調査：入学後の能力伸長	設問「生徒の力を伸ばしている」の得票数
教育成果 Outcomes	企業人事の評判調査	「企業の人事担当者から見た大学のイメージ調査」の得票数
	研究者の評判調査	THE による高等教育機関研究者の評判調査の得票数
国際性 Environment	外国人学生比率	在籍外国人学生数、在籍学生数
	外国人教員比率	在籍外国人教員数、教員数
	日本人学生の留学比率	日本人学生の留学生数、在籍学生数
	外国語で行われている講座の比率	外国語で行われている講座数、全講座数

THE 日本大学ランキング 2023【総合順位】（50位まで抜粋）

順位		大学名	スコア				
2023 総合	昨年 総合		総合 Overall	教育リソース Resources	教育充実度 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Environment
1	1	東北大学	85.9	80.3	84.0	97.6	88.8
2	2	東京大学	82.7	83.4	84.2	95.3	69.6
3	=3	大阪大学	82.5	75.2	83.1	96.4	83.0
4	=3	東京工業大学	82.3	75.8	84.5	93.5	81.0
5	5	京都大学	82.2	79.3	80.9	98.6	75.9
6	7	九州大学	80.5	72.5	83.3	97.0	76.6
7	6	北海道大学	80.1	71.4	82.4	96.0	78.7
8	8	名古屋大学	78.9	74.1	79.7	97.4	71.0
9	9	筑波大学	77.8	70.9	82.9	90.0	72.3
10	12	国際基督教大学	73.3	50.7	91.4	56.7	98.0
11	10	広島大学	73.0	63.0	82.3	73.7	75.8
12	11	慶應義塾大学	72.1	58.8	77.4	93.2	69.8
13	14	神戸大学	71.7	61.7	78.3	83.2	69.6
14	13	早稲田大学	71.4	47.4	80.2	93.2	81.4
15	17	国際教養大学	71.3	47.7	91.3	62.3	88.6
16	16	一橋大学	69.7	46.5	85.1	70.1	85.6
17	15	東京医科歯科大学	69.4	84.6	63.9	46.5	70.4
18	19	金沢大学	66.9	62.6	76.6	54.0	69.8
19	=21	千葉大学	66.0	59.9	76.7	61.8	63.5
20	23	東京農工大学	65.3	64.4	73.2	48.4	68.4
21	=21	岡山大学	65.2	58.8	75.8	54.4	69.1
=22	24	立命館アジア太平洋大学	64.5	31.4	86.8	48.8	99.8
=22	20	上智大学	64.5	39.0	82.4	53.6	89.8
24	18	会津大学	64.3	58.7	79.8	28.7	79.1
25	=31	熊本大学	63.7	60.1	70.5	60.2	62.4
26	30	長崎大学	63.4	62.5	73.9	46.2	62.9
27	27	東京外国語大学	63.3	36.8	84.1	50.9	87.2
28	26	横浜国立大学	62.7	48.2	75.0	58.0	72.8
29	35	京都工芸繊維大学	62.4	54.3	66.8	52.2	77.9
30	=31	長岡技術科学大学	62.1	57.1	64.4	47.6	78.8
31	=31	立命館大学	61.6	35.9	82.4	58.6	76.5
32	25	お茶の水女子大学	61.3	59.5	77.6	29.9	65.1
33	29	東京理科大学	61.2	50.5	79.4	68.2	46.3
34	28	芝浦工業大学	61.1	44.6	76.6	47.8	76.4
35	36	豊橋技術科学大学	60.6	61.2	48.9-56.1	50.4	75.5
36	=37	電気通信大学	59.5	58.4	67.1	43.8	62.4
37	40	東京都立大学	58.8	54.4	69.1	55.2	53.5
=38	=37	九州工業大学	58.3	49.3	76.8	44.4	56.8
=38	34	横浜市立大学	58.3	68.7	70.7	32.4	42.9
=40	NR	大阪公立大学	58.0	60.5	69.6	60.0	27.7-40.5
=40	=44	立教大学	58.0	33.3	82.1	42.2	76.2
42	39	東京海洋大学	57.7	58.8	61.7	45.8	59.5
43	=41	同志社大学	57.2	34.8	77.6	50.2	70.1
44	=44	関西学院大学	56.8	35.4	78.1	43.0	72.1
=45	46	福岡女子大学	56.5	40.3	75.5	-	88.9
=45	=41	明治大学	56.5	36.8	79.9	48.3	61.2
=47	43	神田外語大学	56.2	22.0-31.0	84.7	30.8	80.0
=47	61	名古屋市立大学	56.2	68.9	58.8	45.1	27.7-40.5
=49	53	学習院大学	55.1	40.0	69.8	38.5	72.1
=49	52	名古屋工業大学	55.1	52.3	65.6	52.0	46.7

※順位横の「=」表記は、同順位であることを示しています。同順位の場合は英語表記のアルファベット順に掲載しています。

※「NR」は2022版でランキング対象でなかったことを示しています。

※「-」は、分野における順位が201位以下のためスコア非表示としています。

※詳細は「THE 日本大学ランキング」日本語公式サイトをご覧ください。 <https://japanuniversityrankings.jp/>

THE 日本大学ランキング 2023【分野別順位】（20位まで抜粋）

教育リソース Resources			教育充実度 Engagement			教育成果 Outcomes			国際性 Environment		
順位	昨年	大学名	順位	昨年	大学名	順位	昨年	大学名	順位	昨年	大学名
1	2	東京医科歯科大学	1	2	国際基督教大学	1	1	京都大学	1	1	立命館アジア太平洋大学
2	1	東京大学	2	1	国際教養大学	2	3	東北大学	2	2	国際基督教大学
3	4	京都府立医科大学	3	3	立命館アジア太平洋大学	3	4	名古屋大学	3	3	大阪女学院大学
4	5	浜松医科大学	4	19	一橋大学	4	7	九州大学	4	7	関西外国語大学
5	6	東北大学	5	=9	神田外語大学	5	6	大阪大学	5	4	宮崎国際大学
6	=8	京都大学	6	6	東京工業大学	6	2	北海道大学	6	5	創価大学
7	=8	東京医科大学	7	=9	東京大学	7	5	東京大学	7	20	京都外国語大学
8	10	滋賀医科大学	8	=4	東京外国語大学	8	8	東京工業大学	8	8	上智大学
9	NR	和歌山県立医科大学	9	=4	東北大学	=9	10	慶應義塾大学	9	=12	麗澤大学
10	12	愛知医科大学	10	12	九州大学	=9	9	早稲田大学	10	14	福岡女子大学
=11	11	日本医科大学	11	=7	大阪大学	11	11	筑波大学	11	9	東北大学
=11	13	札幌医科大学	12	=7	筑波大学	12	13	神戸大学	12	6	国際教養大学
13	17	東京工業大学	=13	16	北海道大学	13	14	広島大学	13	11	東京国際大学
14	14	福島県立医科大学	=13	=13	立命館大学	14	12	一橋大学	14	15	東京外国語大学
15	18	大阪大学	=13	=9	上智大学	15	15	東京理科大学	15	16	名古屋商科大学
16	15	東京慈恵会医科大学	16	=17	広島大学	16	45	国際教養大学	16	10	神戸市外国語大学
17	19	名古屋大学	17	21	立教大学	17	18	千葉大学	17	NR	長崎外国語大学
=18	22	九州大学	18	29	京都大学	18	35	熊本大学	18	18	一橋大学
=18	20	産業医科大学	19	24	早稲田大学	19	NR	大阪公立大学	19	23	恵泉女学園大学
20	21	豊田工業大学	20	23	明治大学	20	22	立命館大学	20	19	大阪大学

※「昨年」は2022版の順位です。

※順位横の「=」表記は、同順位であることを示しています。同順位の場合は英語表記のアルファベット順で掲載しています。

※「NR」は2022版でランキング対象でなかったことを示しています。

THE Chief Global Affairs Officer : Phil Baty によるコメント

この国に特化した日本大学ランキングにより、日本の高等教育の質をより深く、豊かに知ることができ
ます。



今回私たちは、学生数ベースの大学規模別にデータを分析し、コロナ禍後の回復ペースが、規模ごとに若干異なることを発見しました。全体的に、小規模の大学は、コロナ禍前は学生のエンゲージメントが高い傾向にありましたが、パンデミック時にはより大きな影響を受け、教員と学生の交流や協働学習のレベルをコロナ禍前のレベルに回復させるのに苦労しているようです。

東北大学が4年連続で首位を維持したことは、非常に素晴らしいことであり、同大学のレベルの高さを明確に示しています。東京大学は2位を維持し、これも高く評価したいと思います。

トップ10の大学の顔ぶれは昨年とほぼ同じで、九州大学が1つ順位を上げて6位、国際基督教大学が2つ順位を上げて初めてトップ10に入りました。上位層のこの安定感は、日本を代表する大学の泰然性と回復力を証明するものです。

日本大学ランキングは、国内外から日本で教育を受けようとする全ての学生にとって、素晴らしいカスタムメイドのリソースであると同時に、大学の経営者や政策立案者にとって強固なベンチマークと意思決定ツールを提供しています。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社ベネッセホールディングス 広報部 濱野・齋藤・宮本・萩澤
電話：042-357-3658 FAX：042-389-1757

詳細は「THE 日本大学ランキング」日本語公式サイトをご覧ください。
<https://japanuniversityrankings.jp/>